

街頭検査実施結果について

定期点検整備の促進と不正改造車排除を図るため、標記街頭検査が実施されました。なお、検査結果は次のとおりです。

日時	実施場所	参加者	摘要	
7月11日(木) 13:30~16:00	北杜市白州町 (地方整備局敷地内)	運輸支局 独立検査法人 軽自動車検査協会 峡北支部 振興会	4名 1名 2名 7名 2名	総検査車両数 不良車両数 整備命令 口頭注意 車検切れ
				104台 7台 0台 7台 0台

【主な不適合箇所】

口頭注意 灯火器の不点灯、最大積載量表示不良など

※ 峠北支部の皆様、ご協力ありがとうございました。

振興会関東ブロック共同広報について

自動車整備振興会関東ブロック連絡協議会（東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨各振興会）では、整備業界のイメージアップと点検整備促進のためのラジオ広報を、昭和61年度より共同で実施しています。

今年度の関東ブロック共同広報は、タレントの関根勤さんをイメージキャラクターとして、整備業界のイメージアップと点検整備促進のラジオCMなどを実施します。

今年度のCMコピーは「故障の実況篇」「信頼できる整備工場へ篇」「台無し篇」「日課篇」「一年に一度篇」の5タイプで、ラジオCMによる広報活動は、山梨放送・FM富士（9月～11月）で放送予定です。

■放送局

文化放送	ニッポン放送	TBS	FM東京	J-WAVE
FM横浜	Nack5	茨城放送	栃木放送	FM群馬、
山梨放送、	FM富士	(スポット 9月～11月 (朝・ドライバーゾーン))		

1. 「故障の実況」篇

(※車の故障をプロレスの実況風に展開)

実況：ああ！っと！あの様子は！ 完全にダウン！ダウンです！ 関根さん！

関根：ありやエンジントラブルですね。

実況：(原因は？！)

関根：点検整備を怠ったんでしょう。車の点検整備は大切です。

黄色い看板が目印の国の認証を受けている整備工場へ。

NA：自動車整備振興会

2. 「信頼できる整備工場へ」篇

関根: 関根勤です。 車の点検整備って大切ですよね。

実はそれと同じくらい、どこにお願いするかっていうのも大切なんですよ。

NA: 車の点検整備は、国の認証を受けている信頼できる整備工場へ。

関根: 黄色い看板が目印です。

NA: 自動車整備振興会

3. 「台無し」篇

効果音:(鳥の鳴き声)

関根: 「関根勤です。たまの休日にこうして家で、のんびり過ごすって最高です。でも…」

効果音:(改造車の爆音)

関根: 「こんな音が聞こえたら、台無しです。」

NA: 「周りの迷惑を考えない車の不正改造。」

関根: 「絶対にやめてください。」

NA: 自動車整備振興会

4. 「日課」篇

効果音:(環境のいい街 & 犬の鳴き声)

関根: 「関根勤です。僕の日課は愛犬との散歩。 きれいな空気を吸って歩いていると、エコの大切さを実感しますね。」

NA: 「車の点検整備も大切なエコのひとつ。燃費向上によるCO₂削減に貢献できます。」

NA: 自動車整備振興会

5. 「年に一度」篇

関根: 「関根勤です。 家族の大切な記念日みたいに、環境のことを思って、車の点検整備する日を決めてもいいんじゃないかな。」

NA: 「一年に一度の点検整備を大切に。車の燃費向上はCO₂の削減につながります。」

NA: 自動車整備振興会

教育委員会が開催されました

◇日 時 8月2日（金）15：00

◇場 所 （一社）山梨県自動車整備振興会 第2教室

◇出席者 清水委員長、村松副委員長、深澤委員、大久保委員、別符委員、輿石委員
事務局：斎木専務理事、山下指導教育部長、組澤教育係長

◇会議事項

（1）次世代自動車の技術教育体系の構築

- 1) 教育実習棟の増改築と実習教材の充実強化
- 2) 効果的な新整備技術の習得研修会の実施

（2）汎用スキャナツールの普及促進

- 1) スキャナツール基礎・応用研修会の実施
- 2) スキャナツール実態把握と認定工場制度の推進

（3）第19回全日本自動車整備技能競技大会の参加に向けた技術向上と実作業等への波及効果を出すための方策

※全日本自動車整備技能競技大会

日時：10月26日（土）8：30～15：00

場所：東京ビックサイト（東京国際展示場）西3・4ホール

経営委員会が開催されました

◇日 時 8月2日（金）17：00

◇場 所 （一社）山梨県自動車整備振興会 第2教室

◇出席者 渡辺委員長、久島副委員長、清水委員、上野委員、望月委員、小川委員、
小俣委員、大村委員、臼井委員

事務局：斎木専務理事、山下指導教育部長、飯島指導係

◇会議事項

（1）平成25年度経営委員会諮問事項について

1. 自動車整備事業のビジョンⅡの普及促進
 - 1) 具体的取り組み事例の紹介と浸透
 - 2) 環境対策〔環境家計簿の活用〕の推進
2. 点検整備の推進と入庫促進対策の実施

入庫促進、来店頻度向上マニュアルの普及推進

※自動車点検整備推進運動・点検整備推進デー

（マイカー無料点検・チャイルドシートチェックアップ）

日時：9月14日（土）10：00～16：00

場所：イトーヨーカドー甲府昭和店駐車場

3. 社会貢献事業の実施

- 1) 子ども110番のお店周知と工場案内マップの配布啓蒙（新小学校一年生）
- 2) 新しい社会貢献事業の研究

環境に優しい自動車整備関連事業場
山梨県推進協議会総会が開催されました

◆日 時 7月8日(月) 12:30

◆場 所 (一社) 山梨県自動車整備振興会 会議室

◆議事

第1号議案 平成24年度事業報告並びに収支決算報告の承認について

第2号議案 任期満了に伴う役員改選について

第3号議案 平成25年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認について

第4号議案 その他

以上、原案どおり承認されました。

環境に優しい自動車整備関連事業場山梨県推進協議会役員

役職名	氏 名	所 属 団 体 名	
会長	荻原 公明	(社)山梨県自動車整備振興会	会長
副会長	田中好輔	山梨県自動車販売店協会	会長
会計	荻原 公明	山梨県軽自動車協会	会長
役員	有井金三	山梨県中古自動車販売協会	会長
役員	市川 清	山梨県自動車車体整備協同組合	理事長
役員	開森秀昭	山梨県自動車電装品整備商工組合	理事長

「リフト事故撲滅を目指して」パンフレット配布について

一般社団法人日本自動車機械工具協会では、整備用のリフト事故防止活動を進めており、昨年度はポスター「整備用リフト機器の正しい使い方」を作成し、整備事業場等に配付する等事故防止を呼びかけておりますが、残念ながら平成24年1月から12月までにリフト事故は全国で25件にのぼり、人身事故も5件発生しております。

このため、パンフレット「リフト事故撲滅を目指して」を新たに作成し、会員の皆様へ配布します。整備用リフトによる事故防止に努めていただきますようお願いします。

前照灯試験器の新光源に関する対応について

今般、HID及びLED新光源が（以下「新光源」という。）市場導入される以前に販売された一部前照灯試験器において正しい高度が測定しにくい場合があり、部品の交換・改造を行うことにより、新光源への対応が可能となる旨の情報提供が一般社団法人日本自動車機械工具協会より国土交通省にあり、当会にも通知がありました。

なお、新光源への対応に係る改造等の詳細に係るお問い合わせにつきましては、販売事業者へ直接お問い合わせください。

【販売業者】

(株) アルティア 03-5659-8160
安全自動車(株) 03-5441-3412
(株) イヤサカ 03-3833-6111
(株) バンザイ 03-3769-6880

【新光源対応に関する型式一覧】

◆ (株) アルティア

商品番号 及び商品型式	型式	改造対象の 製造番号範囲	改造対応の 可・不可
IM2741	IM-2741	—	不可
IM2736	IM-2736	—	不可
IM2751	IM-2751	—	不可
IM2722	IM-2722	1001～	可
IM2723	IM-2723	1001～	可
IM2711	IM--2711	1001～	可
IM2724	IM-2724	1001～	可
IM2700	IM2771	1001～	対応済
IM2771		1001～	対応済
IM2712	IM-2712	1001～	対応済
IM2738	IM-2737	1001～	対応済
IM2706	IM-2706	1001～	対応済
IM2701	IDP-3000	1A～	対応済
IM2772		1A～	対応済
IM2702	IDP-4000	1A～	対応済

◆安全自動車（株）

商品番号 及び商品型式	型式	改造対象の 製造番号範囲	改造対応の 可・不可
HLI-1000	HLI-1000	—	不可
HL-105		—	不可
HL-105S	HL-105	—	不可
HL-105E		—	不可
HL-1055SE	HL-055SS	—	不可
HL-106	HL-106	—	不可
HLI-2000 モノクロ		2001～2015	不可
HLI-2000	HLI-2000	2016～2180	可
HLI-2003		2201～2450	可
HLI-2007		2501～2700	対応済
HLI-2011		5001～	対応済
HLI-203	HLI-203	201～	可
HLI-205	HLI-205	501～	対応済
HLI-210	HLI-210	1002～1300	対応済
HLI-211		5001～	対応済
HL-205S	HL-205S	5001～	対応済
HLI-208S	HLI-208S	8001～	対応済
HLI-211S	HLI-211S	1101～	対応済
HLI-211SL	HLI-211SL	5101～	対応済

◆（株）イヤサカ

商品番号 及び商品型式	型式	改造対象の 製造番号範囲	改造対応の 可・不可
HLT-113	HLT-113	—	不可
HLT-1133	HLT-1133	—	不可
ALT-410	ALT-410	—	不可
ALT-510	ALT-510	—	不可
ALT-710	ALT-710	—	不可
HLT-110	HLT-110	101～	可
HLT-120	HLT-120	101～373 374～	可 対応済
HLT-130	HLT-130	101～599 600～	可 対応済

HLT-210	HLT-210	201～	可
HLT-211	HLT-211	101～	可
ALT-320	ALT-320	101～132	可
		133～	対応済
ALT-720	ALT-720	101～105	可
		106～	対応済
IHL-100	IHL-100	101～	可
IHL-200	IHL-200	101～	対応済
HLT-125	HLT-125	100～	対応済
		100～	対応済
HLT-140	HLT-140	101～	対応済
HLT-150	HLT-220	101～	対応済
		101～	対応済
HLT-160	IDP-3000	11～	対応済
ALT-360		11～	対応済
HLT-170	IDP-4000	11～	対応済

◆ (株) バンザイ

商品番号 及び商品型式	型式	改造対象の 製造番号範囲	改造対応の 可・不可
HT-501	HT-501	—	不可
HT-502	HT-502	—	不可
HT-505	HT-505	—	不可
HT-515		—	不可
HT-506	HT-506	—	不可
HT-516		—	不可
HT-503	HT-503	—	不可
HT-305	HT-305	—	不可
HT-306	HT-306	—	不可
HT-301	HT-301	1～	可
HT-303	HT-303	1～	可
HT-313	HT-313	1001～	可
HT-504		1～200	可
HT-512	HT-512	1～200	可
HT-508		201～	対応済
HT-302	HT-302	1～1000	対応済
HT-304		1～1000	対応済

HT-307	HT-307	1～	対応済
HT-507	HT-507	1～	対応済
HT-517		1～	対応済
HT-702		1～	対応済
HT-718	HT-702	1～	対応済
HT-309	HT-309	1～	対応済
HT-522		1～	対応済
HT-528	HT-522	1B～	対応済
HT-312		1B～	対応済
HT-318	IDP-3000	1B～	対応済
HT-322	IDP-4000	1B～	対応済

エアブレーキを装備したトラックにおけるブレーキに関する注意喚起について

今般、ブレーキのバタ踏みや過積載等が原因と考えられるエアブレーキを装備したトラックの事故が多発しており、国土交通省からエアブレーキを装備したトラックにおけるブレーキに関する注意喚起についての協力依頼がありましたのでお知らせします。

つきましては、エアブレーキを装備したトラックを使用しているお客様に対して下記事項について、注意喚起を行っていただくようお願い致します。

【エアブレーキを装備したトラックにおけるブレーキに関する事項】

- エアブレーキを装備したトラックでのブレーキペダルのバタ踏みはやめましょう。
 - ・ エアブレーキは操作の度にエアタンクに貯めた空気を消費します。
 - ・ バタ踏みをすると空気圧が大きく低下し、ブレーキ力が低下します。
 - ・ エアタンク内の空気圧が低下するとエアメーターの針がレッド（赤色）ゾーンまで落ちるとともに、警告ブザーが鳴りますので、注意しましょう。
 - ・ 取扱説明書等にもバタ踏みをしないよう記載がありますので、改めて確認しましょう。
- 下り坂ではエンジンブレーキ等を有効に活用しましょう。
 - ・ フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱し「フェード現象」や「ペーパーロック現象」を起こし、ブレーキの効きが悪くなり大変危険です。
- 過積載は法律で禁止されています。
 - ・ 過積載をすると、通常より制動距離が伸びるなど思わぬ事故や故障の原因となります。

エアブレーキ車ではブレーキのバタ踏みは危険です！



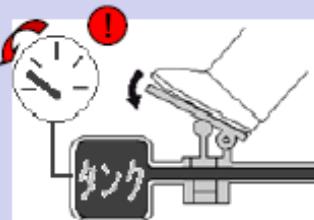
～事故状況～

エアブレーキ車において、ブレーキペダルのバタ踏み※等によりブレーキの効きが悪くなり、数台の車両と衝突する事故が発生しました。

※ バタ踏みとは、ブレーキペダルの踏み込み、ゆるめ操作を短時間に必要以上繰り返すことです。

● エアブレーキ車でのブレーキペダルのバタ踏みはやめましょう。

- ✓ エアブレーキは操作の度にエアタンクに貯めた空気を消費します。バタ踏みをすると空気圧が大きく低下し、ブレーキ力が低下します。
- ✓ 空気圧が低下するとエアメーターの針がレッド(赤色)ゾーンまで落ちるとともに、警報ブザーが鳴りますので、注意しましょう。
- ✓ 取扱説明書等にもバタ踏みをしないよう記載がありますので、改めて確認しましょう。



● 下り坂ではエンジンブレーキ等を有効に活用しましょう。

- ✓ フットブレーキを使い過ぎると、ブレーキが過熱し「フェード現象」や「ベーパーロック現象」を起こし、ブレーキの効きが悪くなり大変危険です。



● 過積載は法律で禁止されています。

- ✓ 過積載をすると、通常より制動距離が伸びるなど思わぬ事故や故障の原因になります。

第122期技術講習所受講生募集のご案内

1. 募集種目・人数

種目	募集人員数
二級ガソリン	40
三級ガソリン	40

(受講希望人員10人未満の場合は開講いたしません。)

2. 受講申込み

①申込期間 9月2日(月)～9月30日(月)

②受講申込み方法 受講申請書(教育課窓口にあります)に必要事項を記入の上受講料を添えてお申し込み下さい。受講者の都合により未受講となった場合の受講料の返却はいたしません。

3. 受講料

種 目		受講料	備 記
二級ガソリン	会員	57,000	受講料には、テキスト代・資料代を含みます。
	会員外	82,000	
三級ガソリン	会員	57,000	
	会員外	82,000	

4. 予定講習日程

(受講者への講習日程表は、申込時にお渡します)

①二級ガソリン 原則 火曜日の20日間を予定(土曜日1日含む)

②三級ガソリン 原則 金曜日の20日間を予定

③講習時間 9:10～15:50(1日6时限)

④開講式(予定) 10月29日(火) 講習開始初日に行います。
※9:00より開講式を始めます。

⑤修了式(予定) 平成26年3月上旬

5. 受講資格(実務経験は講習修了日までとする)

二級ガソリン	三級の技能検定に合格した者で技能検定合格の日から自動車の整備作業に関して3年以上の実務経験を有する者 (大学機械科卒1.5年、高校機械科卒2.0年)
三級ガソリン	自動車の整備作業に関して、1年以上の実務経験を有する者 (大学機械科卒0.5年、高校機械科卒0.5年)

6. その他

- ①本講習は検定試験の実技試験免除の講習です。
- ②受講者は、白色作業服を着用していただきます。
- ③デジタルサーキットテスタをご用意下さい（ポケット型は不可）
※自動車整備商工組合販賣課で下記の物を取り扱っています。

☆白色作業服	3,045円 (S~3Lまで)
	3,255円 (4L~BXL)
☆デジタルサーキットテスタ	7,000円

各種研修・講習会のお知らせ

1. 普通救命講習会

もしもの時に、知っておきたい「応急手当」

もしも、あなたの身近な人が、あなたの目の前で急に倒れ、呼吸が停止してしまったらどうします？
もしも、あなたが戸外で倒れている人を見つめ、呼吸が止まっていた状態だったらどうします？
救急車を呼んで、そのままにせず到着するまで待っていますか？
「命が助かる」、「命が助からない」は、その時の適切な判断と行動で左右されてしまいます。
万が一の時、適切に行動できるよう、この講習会で「救命救急」を体得いたしましょう。
笛吹市消防本部の協力により救命救急の実習を主体に行う予定です。

- ◇受付期間 **8月1日（木）～9月13日（金）**
- ◇講習日時 **10月2日（水）9：00～12：00**
 ※会場集合8：55までにご着席下さい。
- ◇講習会場 (一社) 山梨県自動車整備振興会 研修センター 大講堂
- ◇担当講師 笛吹市消防本部 担当者
- ◇受講料 **無料**
- ◇定員 **40～50名**
- ◇申込方法 消防署指定の申請書に記入し、振興会・教育課までお申し込み下さい。
 申請書は本誌巻末・教育課窓口にあります。また、振興会ホームページ
<http://www.ams.or.jp> の「会員ページ」からもダウンロードできます。

講習終了後、笛吹市消防本部より「普通救命講習修了証」が交付されます。

※注意※ 本講習は、国家資格である「救急救命士」取得のための講習ではありません。

応急手当に関する、技能を修得するための講習です。

概ね3～4年を経過したら「新たな技能習得のため再講習を受けることが望ましい」と言われています。

2. 低圧電気取扱特別講習会

(ハイブリッド車及び電気自動車に限る)

労働安全衛生法第6章 労働者の就業に当たっての措置

安全衛生教育 第59条の趣旨に基づき標記講習を行います。

事業主の皆様へ（低圧電気取扱いに関して）

「整備士に50V以上の電圧が掛かる充電回路を整備させるには**労働安全衛生法の特別教育**を受けさせることが法令で義務付けられています。

プリウスは最大約650V、インサイトは最大約100V、i-MiEVは最大約300V、
フーガ、リーフは最大約400Vの電圧です。

事業者の義務として法令順守で整備士に安全特別教育を積極的に参加させてください。

◇受付期間 8月1日（木）～9月13日（金）

◇講習日時 10月2日（水）13:00～19:00

◇講習会場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター 大講堂 実習場

◇担当講師 技術講習所講師 ディーラートレーナー

◇講習内容（講習内容をご確認の上、お申込み下さい）

- | | |
|-------------------------|----|
| 1. 電気の基礎、電気回路の点検 | 学科 |
| 2. 電気の安全に必要な基礎知識 | 学科 |
| 3. 関係法令と低圧電気取扱い | 学科 |
| 4. ハイブリッド車作業上の心得と注意 | 学科 |
| 5. ハイブリッド車の整備 | 実習 |
| 6. 試問（70%以上合格）・解説・修了証授与 | |

◇持ち物 筆記用具、電卓

◇定員 30名

◇受講料 6,300円（テキスト代含む）

（申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。）

【使用テキスト】

・新版 低圧電気取扱安全必携 630円

・電気の基礎知識電気の安全に必要な基礎知識

ハイブリッド車概要 1,050円

◇申込方法 申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。また、振興会ホームページ（<http://www.ams.or.jp>）の「会員ページ」からもダウンロードできます。
必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

ご注意

受講希望の方は、同日午前に行なわれる消防署「普通救命講習」を受講して下さい。

既に、消防署「普通救命講習」または、「上級救命講習」を受講済みの方は、申込み時に消防署「救命講習」修了証のコピーを提出して下さい。

講習修了証書を授与し、受講証明もしますので整備士手帳もお持ち下さい。

労働安全衛生法 第6章 労働者の就業に当たっての措置 安全衛生教育法 第59条（条文のまま）

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全または衛生のための教育を行わなければならない。

2. 前項の規定は、労働者の作業内容を変更したときについて準用する。
3. 事業者は、危険または有害な業務で、労働省令に定めるものに労働者を

つかせるときは、労働省令で定めるところにより、当該業務に関する安全又は衛生のための特別の教育を行わなければならない。

労働安全衛生規則 第36条（条文のまま）

第59条の厚生労働省令で定める危険又は有害な業務は、次のとおりとする。

・高圧（直流にあっては七百五十ボルトを、交流にあっては六百ボルトを超える電圧をいう。以下同じ。）若しくは特別高圧（七千ボルトを超える電圧をいう。以下同じ。）の充電電路若しくは当該充電電路の支持物の敷設、点検、修理若しくは操作の業務、**低圧**（**直流にあっては七百五十ボルト以下**、交流にあっては六百ボルト以下である電圧をいう。以下同じ。）の**充電電路**（対地電圧が五十ボルト以下であるもの及び電信用のもの、電話用のもの等で感電による危害を生ずるおそれのないものを除く。）の敷設若しくは**修理の業務**又は配電盤室、変電室等区画された場所に設置する低圧の電路（対地電圧が五十ボルト以下であるもの及び電信用のもの、電話用のもの等で感電による危害の生ずるおそれのないものを除く。）のうち**充電部分が露出している開閉器の操作の業務**

★ これらの規則に違反した場合、**労働安全衛生法第12章罰則第119条1項**により**事業者には6月以下の懲役または50万円以下の罰金**が課せられることがあります。

3. 小型ジーゼル車整備基礎講習会

点火装置を持たないジーゼル車整備に関し、多くの事業場で点検整備されている所ではありますが、過酷に使用され走行距離が延びる車両などは、確実な点検整備がトラブル回避の大きなポイントとなります。現在ジーゼルエンジンに主流となっているコモンレールに関しても、従来の燃料システム以上の圧力で作動しているため、整備には細心の注意が必要となり、また故障診断システムもOBDを多用されるようになりました。

日頃ジーゼルエンジン整備を専門に行っている大型ディーラーに協力を依頼し、2t程の小型トラックを用いて整備基礎講習を実施いたしますので、多くの方の参加をお待ちしています。

◇受付期間 **8月1日（木）～9月20日（金）**

◇講習日時 10月9日（水） 9：30～16：00

◇講習会場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場

◇担当講師 大型ディーラートレーナー

◇実習車両 2tクラスのトラック

◇講習内容 午前 各社基本整備内容学科講習

午後 ジーゼル車基本整備方法実習

- ・ フューエルフィルター交換要領
- ・ コモンレール関係整備要領
- ・ 自己診断表示及び消去方法
- ・ その他

◇定員 **30名**

◇受講料 5,000円（資料代含む）

（申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。）

4. 自動車整備技能登録試験対応講座

平成25年度第1回自動車整備士技能登録試験（平成25年10月6日（日）実施）を受験する者を対象とした標記講座を下記の日程等により行いますので、受講をお勧めします。

◇受付期間

8月5日（月）～8月30日（金）

◇実施種目

2級ガソリン自動車 3級自動車ガソリン・エンジン

◇講習日時

第1日	9月18日（水）	9：10～15：50
第2日	9月20日（金）	9：10～15：50
第3日	9月24日（火）	10：00～15：50

◇講習会場

（一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター

◇講習内容

過去に実施された検定・登録試験の問題をもとに、出題の傾向と対策を研究学習

◇使用教材

当振興会で作成した問題及び過去に実施した検定・登録試験問題等

※下記のテキストは、必ず各自で持参して下さい。

◆2級ガソリン自動車

⇒ 2級ガソリン・エンジン編、2級シャシ編、法令教材

◆3級自動車ガソリン・エンジン

⇒ 3級ガソリン・エンジン編、基礎自動車工学、法令教材

◇受講料

2級、3級・・・15,000円（資料代含む）

（申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。）

5. スキャンツール基本研修会

スキャンツール活用事業場認定要件の一つの、応用研修の受講条件である基本研修を開催します。

◇受講条件

三級自動車整備士以上でスキャンツール使用未経験者が対象

（他団体等のスキャンツール研修等を受講済みであれば、確認により本基本研修を受講済とみなすことも出来ますので、**基本研修が必要となるかどうか不明な方は、教育課までご相談ください**）

◇受付期間

6月3月（月）～8月15日（木）

◇講習日時

8月19日（月）13：00～16：00

◇講習会場

（一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場

◇担当講師

振興会講師

◇講習内容

スキャンツール（日立HDM3000・デンソーDST-2、DST-i）を使い、

機器の取扱い方法と実車での簡易な故障探求

（以前行いました外部診断機等取扱講習と同じ内容です）

◇持ち物

サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具

◇定員

20名（定員になり次第締切とさせて頂きます）

◇受講料

4,000円（資料代含む）

（申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。）

6. 自動車エンジン電装講習会 (STEP UP3)

自動車のエンジン故障は、日々複雑になっています。
また、外部診断機器を使用しないと故障系統すら分からず状態です。
振興会所有の外部診断機を使って、エンジン電装理論、故障診断をしてみましょう。

- ◇ 受付期間 6月3日（月）～ 8月16日（金）
- ◇ 講習日時 8月21日（水）9：30～16：00
- ◇ 講習場所 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 外部講師
- ◇ 講習内容 自動車エンジン電装の理論と、ベンチエンジンや実車で外部診断機を使用した故障診断等の講習です。

【注意 回路図を使って行いますが、回路図の読み方の講習は行いませんので、自動車電気基礎入門を受講済みの方、又は回路図が読める方を対象とします】

- ◇ 持ち物 サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具
- ◇ 定員 10名（定員になり次第締切とさせて頂きます）
- ◇ 受講料 5,000円（資料代含む）
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

各種研修・講習申込方法

申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。また、振興会ホームページ (<http://www.ams.or.jp>) の「会員ページ」からもダウンロードできます。
必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

スキャンツール応用研修会の報告

「コンピュータシステム認定店」申請に必要となるスキャンツール応用研修会を7月17日（水）ディーラートレーナーのご協力を頂き、参加者22名にて行いました。

日頃スキャンツールを事業場で活用していることもあり、データー読取での故障診断方法についてより深く研修されました。

今後、スキャンツールを整備作業に十分活用して頂き、車両の異常等をお客様に記録をもって説明され、更なる信頼を得て頂きたいと思います。



FAINES新規入会キャンペーン

全国の振興会会員を対象として、新規にFAINESへ入会する際に、入会金の割引キャンペーンを期間限定で実施します。キャンペーンの詳細は以下の通りとなります。

(1) キャンペーン内容

入会金12,000円 → 7,000円 【5,000円割引】

※新規入会の事業者限定となります。(会員外及び再入会は対象外)

(2) 対象期間

平成25年6月1日(土)～平成26年1月31日(金)

※所属振興会での入会登録が上記期間の場合に適用となります。

お支払は、安心・便利な口座振替！

- ・サービス料金は、ご指定の金融機関の口座からの自動引き落しとなります。
- ・通常の振替月は、5月(1~3月)、8月(4~6月)、11月(7~9月)、2月(前年10~12月)の年4回の実施となります。
(振替日は振替月の6日)



1. メーカーの整備マニュアルが直接閲覧できます (旧型車については掲載されていないものもあり)
2. スキヤンツールを活用した診断ができる (正常車両からのデータ掲載 日立、デンソー)
3. 故障整備事例＆アドバイス情報を入手できる (実体験を元にした故障現象の原因と整備内容)
4. 正しく透明性のある料金計算ができる (自動車整備作業点数表)
5. サービスデータが手軽に確認できる (国産＆輸入自動車各車種の主要諸元値、点検基準値)
6. 技術情報が確認できる (新型車の解説、点検方法、整備作業上のポイント)
7. タイミング・ベルト交換要領が入手できる (エンジン型式別の交換要領)
8. 整備主任者研修用資料が閲覧できる (過去分の資料)
9. 電子燃料噴射装置故障探究マニュアル (主要車種のエンジン回路図、自己診断方法等)
10. リコール情報がいち早く入手できる (型式や届出番号から検索)
11. その他の情報 (関係官庁や関連団体、自動車メーカー等から発信された情報等)

以上が、毎月1,000円（税別）の会費ですべて見放題！

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol. 19

ケースその1

【相談】

【内容】エンジンオイル交換の翌日、エンジンから煙が発生

・車名：軽自動車・登録年月：平成10年・走行距離：不明

平成25年1月4日、認証工場（用品販売店）でエンジンオイル、オイルエレメントを交換する。翌5日にエンジンより煙が出るトラブル発生。エンジルームにオイルが飛散し、酷い状態であり、レッカーで別の整備工場に運搬する。

エンジンオイル交換依頼時、認証工場（用品販売店）にはフラッシングを依頼するが、オイルキャップ、ドレンプラグより漏れがあるので止めた方が良いとの口頭説明あり、エンジンオイル、オイルエレメントの交換を依頼する。精算の際、渡された書類に色々な記入欄があるがアドバイス的な事は一切記入されておらず、トラブル発生後に「あっちこっちより漏れ」「オイルを抜いた時も少なかった」「お客様の自己管理が原因では」との説明。作業段階で口頭説明が出来るのに、書類にアドバイスの記入も無く、トラブル後にオイル漏れがあったと言われても納得出来ない。プロであれば今回のトラブルが発生する恐れがあるとのアドバイスが出来ないのか。交換代金は返金するとの責任者の対応だが、納得できない。レッカ一代金、修理代金についても心配である。

【対応】

本社担当者に相談内容を説明し、店舗担当者に状況確認後、連絡を依頼する。作業時の対応（オイルキャップ、ドレンプラグからの漏れの口頭説明）を考えると、作業終了後のアドバイスも必要ではなかったかと思われる相談内容である。相談に関する件について、原因及び今後の対応等を説明するよう指導する。

ケースその2

【相談】

【内容】購入後1年未満でエンジンが焼き付き、工場の対応には納得できない

・軽自動車・登録年月：不明・走行距離：80,000km

平成24年4月にA整備工場で軽の中古車を購入（走行距離6万km）。納車されてすぐに「ハンドルを切るとギーギー音が鳴ったので、購入したA整備工場で点検してもらったところ、その音が再現されなかつた為、「走っていても支障は無い」と言われた。

後日、また音が鳴ってきたのでしっかりと点検するように要望し、音に関係のある部位（ドライブシャフト）を新品に交換してもらった。その整備の際、整備要員から「エンジンが焼けくさい」と言われ、オイルを点検したところオイルが不足していた。不安だったのでオイルを交換してもらい「走行には問題無い」と言われた。

平成25年1月（8万km走行時）、高速走行中にエンジンが焼き付き（コンロッドがシリンダーブロックを突き破る）を起こし、JAFへレッカー移動を依頼し、B整備工場へ搬送された。B整備工場に、これまでの修理に係る経緯を説明したところ、A整備工場へ修理依頼をお願いしたほうが良いと言われA整備工場へ搬送して頂いたが、「整備の保証も付いていないので、修理代はすべてお客様持ち」と言われた。

今までの修理入庫した経緯も含めて、買って1年も経っていないのに、こんな不具合が発生するのはおかしいのでは。こうなる前にA整備工場で何らかの対処方法が無かったものか。その対応に納得できない。

【対応】

相談者に対し、当相談所は、あくまでも両者の間に立って橋渡しをする事しか出来ない旨を説明し、「エンジンオイルの保守管理」及び、購入時の「整備保証の有無」についてアドバイスをし、本相談内容については確実に工場側にお伝えする旨回答した。

その後、A整備工場に連絡し、誠意ある対応をしてもらうようお願いした。後日、双方より連絡があり、お互いに修理代を負担し、和解した旨の報告があった。

整備インフォメーション

Vol. 28

カーエアコン【冷凍サイクル】の故障診断

圧力を見る重要性（基本に戻って確認してみましょう）

■ 内容

エアコン作動時の冷媒圧力を見ることにより、故障箇所やその原因を推測することができます。常に適正な数値を確認し、故障診断を行うことが重要です。
なお、詳細は各メーカーの修理書に従って作業を行って下さい。

■ ゲージマニホールドを使った診断について

ゲージマニホールドを使用して故障診断を行う場合、下記の条件の下に行ってください。

- ・エンジン : 暖気後
 - ・ドア : 全開
 - ・内外切り替え : R E C I R C (内気循環)
 - ・エンジン回転 : 1500rpm (R134a)
: 2000rpm (R12)
 - ・エアコン吸い込み口温度 : 30~35°C
 - ・風量切り替え : HI
 - ・温度調整 : 最強冷

注意 EPR（エバポレータ・プレッシャ・レギュレータ）付き車の場合、低圧側圧力値を EPR で制御するため異常の場合でも異常値そのものがゲージ圧力に直接あらわれない場合があります。

現象： サイトグラスに気泡が連続的に通過する。吹き出し空気温度が冷たくない。

原因： 冷媒が少ない。 ガス漏れ。

処置： ガス漏れ箇所の修正。冷媒の充填。 ゲージ接続時に圧力指示値が0に近いときは漏れ箇所の点検、修正後、真空引き作業を行うこと。

③冷媒が循環しない・・・〈低圧側〉 負圧

〈高圧側〉 $5 \sim 6 \text{ kg/cm}^2$ (0.49 ~ 0.588Mpa)

現象： 完全なつまりの場合はすぐに低圧側が負圧になる。

つまり気味の場合は、徐々に低圧側が負圧を指示する。

原因： A/Cサイクルのつまり

処置： レシーバー&ドライヤー、エキスパンションバルブ、EPR等の点検

(不具合部品の入り口と出口間で温度差が生じる)

作業終了後の真空引き作業を確実に行うこと。

④サイクル内に水分が混入している・・・〈低圧側〉 負圧

〈高圧側〉 $7 \sim 10 \text{ kg/cm}^2$ (0.686 ~ 0.98Mpa)

現象： A/C作動始めは正常に作動するが、しばらく経過後に低圧側圧力が負圧になる。

原因： 水分の混入によるエキスパンションバルブの凍結

処置： エキスパンションバルブの点検。レシーバー&ドライヤーの交換。

作業終了後の真空引き作業を確実に行うこと。

⑤コンプレッサの圧縮不良・・・〈低圧側〉 $4 \sim 6 \text{ kg/cm}^2$ (0.392 ~ 0.588Mpa)

〈高圧側〉 $7 \sim 10 \text{ kg/cm}^2$ (0.686 ~ 0.98Mpa)

現象： 低圧側圧力が高く、高圧側圧力が低い。A/Cを切ると高低圧が同じ圧力になる。

原因： コンプレッサの不良

処置： コンプレッサの点検。圧縮不良の場合はコンプレッサ本体を触っても熱くない。

注) 可変容量型コンプレッサの場合、可変の状態によって圧力変動が起き、圧縮不良と誤判断しないよう注意が必要です。

⑥冷媒过多、コンデンサ冷却不足・・・〈低圧側〉 $2.5 \sim 3.5 \text{ kg/cm}^2$ (0.245 ~ 0.343Mpa)

〈高圧側〉 $20 \sim 25 \text{ kg/cm}^2$ (1.96 ~ 2.45Mpa)

現象： 低圧・高圧側ともに圧力が高い。冷えが悪い。

エンジン回転を下げてもサイトグラスに気泡が全く見えない。

原因： 冷媒过多。コンデンサの冷却不良

処置： 冷媒量の適正化。 コンデンサフィン点検修正。 車両冷却系統の点検。

⑦エキスパンションバルブの開き過ぎ・・・〈低圧側〉 $3.0 \sim 4.0 \text{ kg/cm}^2$ (0.294 ~ 0.392Mpa)

〈高圧側〉 $20 \sim 25 \text{ kg/cm}^2$ (1.96 ~ 2.45Mpa)

現象： 低圧・高圧側ともに圧力が高い。 低圧配管に霜(露)が付着する。

原因： エキスパンションバルブ不良

処置： エキスパンションバルブの点検。 感熱筒の取り付け状態を点検。

ガスの量はゲージとサイトグラスを確認しながら適正量入れましょう。

ガスを入れすぎると、圧力が上がりすぎてたいして冷えないうちにプレッシャスイッチ

が作動し、コンプレッサを止めてしまうのでエアコンの機能が果たせなくなります。

逆に少なすぎてもコンプレッサが回らない原因になりますので注意が必要です。

(単位換算は $1\text{kg/cm}^2 = 0.098\text{Mpa}$ にて換算しています。)

なお、配管の接続につきましては、必ずトルクレンチにて規程トルクで締付てください。